



# ひたち野

## 雇用情勢の急激な悪化に対する 雇用対策が最重要課題



茨城労働局長 植松 弘

茨城県中小企業団体中央会並びに会員の皆様方には、日頃より労働行政の運営につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、貴会機関誌に寄稿の機会を頂きましたので、雇用情勢等について紹介させていただきます。

### 労働局

茨城労働局は、厚生労働省の都道府県ごとに配置されている出先機関の一つです。労働というキーワードで、企業と働こうという人、働いている人を結ぶのが、労働局の務めです。働いている人々の労働条件の確保、労災事故の防止や労災補償など、さらには、職を失い働こうとする人々の雇用対策も行っています。また、仕事と子育ての両立支援対策なども行っています。このように広範な業務を担っておりますが、雇用情勢の急激な悪化に対する雇用対策が最重要課題と受け止めて取り組んでいるところです。

### 厳しい雇用情勢

茨城県内の雇用情勢は依然として厳しい状況となっています。平成21年8月の全国の完全失業率は、やや改善したものの、有効求人倍率では、茨城県は、7月と同じ0.38倍と過去最も悪い水準となっています。その中身をみると、会社都合による離職者の発生は一時期に比べ、やや少なくなってきたものの、求人数の低迷により、再就職が円滑に進まずにいる状況となっています。国としては、従業員を解雇しないで雇用を維持する企業に給与や研修費の一部を補助する雇用調整助成金の拡充などの緊急雇用対策を実施してきました。これにより、ある程度の雇用維持が図られてきたものと思います。

### 求人のお願

しかしながら、いまだ、多くの方々が離職を余儀なくされている雇用失業情勢の厳しさから、茨城労働局・ハローワークでは、一人でも多くの求職者を就職に結びつけることができるように、企業を直接訪問して新たな求人をお願いをしているところです。

### 新規高卒者就職面接会

また、来春希望を抱いて新たに社会に旅立とうとする高校生の求人の状況につきましても、厳しい状況にあります。若い有望な新規高卒者は、企業の発展に欠かすことのない技術や技能等を継承するに相応しく、将来、企業を担う人材として成長することが期待されます。茨城労働局・ハローワークでは、「新規高卒者就職面接会」を12月にも開催してまいりますので、将来を見据えた新規高卒者の積極的な採用枠の拡大についてもご検討いただきたくお願いする次第です。

### 障害者就職面接会

さらに、今年開催されたアピリンピックいばらき大会でも、障害のある方々の技能の高さは、明らかになっています。「障害者就職面接会」(平成22年2月予定)を開催してまいりますので、障害のある方々の求人についても、よろしく願いいたします。

### 終わりに

今後とも、多くの企業と多くの人々が、仕事を通じて結ぶことができるように努力したいと思っております。引き続きよろしく願いいたします。